

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-208	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	CⅡ707	CROWN English Communication Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

### 1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

### 2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

### 3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編修の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、「英語コミュニケーションⅠ」における学習で習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。
- 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各Lesson 各課Another Point of View Optional Lesson
	②物語教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	Reading 1, 2
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。(第2号)	Lesson 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。(第3号)	Lesson 2, 3, 4, 8, 9
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。(第4号)	Lesson 4, 7, 10
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。(第4号)	Lesson 7, 10
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。(第5号)	Lesson 1, 2, 6, 8
	⑧平和を扱った課を設けた。(第5号)	Lesson 2, 4
言語活動	①本課および各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各課Your Reaction 各課Give It a Try! 各課Another Point of View 各課Sights & Sounds
	②本課および各課末の言語活動においては、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題など、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。(第1号、第2号、第3号、第4号、第5号)	各課Your Reaction 各課Give It a Try! 各課Another Point of View 各課Sights & Sounds
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各課Your Reaction 各課Give It a Try! 各課Another Point of View 各課Sights & Sounds
付録	生徒の自律的な学習を支える付録を配置した。(第2号)	本課の学習目標一覧 各課Targets 二次元コード(本文および新出語音声) Appendix Functional Expressions
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	各Lesson 各課Give It a Try! 各課Another Point of View Reading 1, 2 Optional Lesson
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	各課構成 もくじ 本課の学習目標一覧 Reading Skill Sound Studio

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

---

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する題材を配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-208	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	CⅡ707	CROWN English Communication Ⅱ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

### (1)基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②「英語コミュニケーションⅠ」の内容を踏まえて、「英語コミュニケーションⅡ」への接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③5領域のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、選択的教材、巻末の付録などを充実させた。

### (2)本書の特色と編修上の留意点

#### A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

#### B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、言語と民族、国際協力や社会貢献、比較文化、平和や地球環境、自然科学や科学技術、芸術、伝統文化、歴史、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、スピーチ、インタビュー、レクチャー、エッセイ、対話文、論説文、記事、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、アフリカ、ヨーロッパの国および人物を配置した。

#### C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は、表現活動に活用することを基本として、「英語コミュニケーションⅡ」では、より発展的な文法事項を扱った。

- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) 「基本文」は脚注下段に示し、既習語による文として提示とした。
- 5) 「単語」は、中学校までの既習語を2,206語、「英語コミュニケーションⅠ」の既習語を604語とし、それ以外の語を新語として脚注上段で示した。また、「連語・熟語」「表現」については、側注および脚注中段で示した。
- 6) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

#### D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、「Your Reaction」「Give It a Try!」「Another Point of View」などで、言語の「使用場面」を考慮し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図れるよう配慮した。また、5領域の総合的・統合的な関連を図り、思考力・判断力・表現力を養成できるよう工夫した。「言語の働き」についても留意し、特に会話で多用される慣用的な表現について、中学校および「英語コミュニケーションⅠ」での体験や学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

#### E. 本書の構成と内容

- 1) 各課の本文は、5領域の能力の伸長を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は4で構成されている。
- 2) 各課の基本文は脚注に〈G〉で示し、本文中には同じマークで該当する文を示した。
- 3) 各ページの脚注には上段に新出語、中段に連語・熟語、表現、下段に基本文を示した。新出語のうち、特にコミュニケーションにおいて重要だとみなした語は、巻末「Word List」の中で太字体（ボールド体）で示した。
- 4) 各課の始めの「Targets」では、生徒がその課での学習の見通しを立てられるようにした。また、「Take a Moment to Think」「What's the Topic?」「Information」を設け、生徒がすでに身につけている題材の背景の知識を活性化させたり、情報を得たりするための支援とした。
- 5) 各課の練習問題は、セクションごとの「TF」「Questions」「Your Reaction」、各課末の「Wrap It Up!」「Give It a Try!」「Grammar for Communication」で構成し、5領域の言語活動が総合的・統合的に行われるように配慮した。  
「TF」は、音声による各セクションの内容理解の確認。「Questions」は、各セクションの内容理解の確認で、推論などの思考力問題を含む。「Your Reaction」は、各セクションの内容に関連して自分の意見や考えを発信する創造的な言語活動。課末の「Wrap It Up!」は、本課全体の内容確認と要約、および思考力を問うための問題。「Give It a Try!」は、本課の題材内容に関連して自分の考えを発信する領域統合的な言語活動に資するものとし、「Grammar for Communication」では、新出の文法項目などについて、使用場面を意識した練習問題を提示した。
- 6) 各課の最後には「Another Point of View」、さらにLesson 3、4、7、8には「Sights & Sounds」を配置し、本課に関連するテーマを別の角度・視点から考えたり、別の媒体からテーマへの理解を深めたりすることにより、さらに深化した言語活動をおこなうことができるようにした。
- 7) 「Reading Skill」では、読み方の技術の基本を系統的に示した。
- 8) 「Sound Studio」では、音声に関して、音の連結・脱落・同化、区切り、強勢・リズム、イントネーションを扱った。
- 9) 巻末に「Appendix」を設け、「Give It a Try!」の音声スクリプトやライティングのモデル、「Another Point of View」の新出語を提示し、学習上の配慮とした。「Functional Expressions」には、言語活動において活用度の高い慣用表現を提示しつつ、系統的に示した
- 10) 巻末に「Word List」「Phrase List」を設け、「英語コミュニケーションⅠ」での既習語（604語）と「英語コミュニケーションⅡ」の新出語（815語）を掲載し、初出ページを示した。特にコミュニケーションにおいて重要だとみなした語は、太字体（ボールド体）で示した。

## 2. 対照表

	図書の構成・内容 (●=LESSONなど ○=課間 ◎=付録)	学習指導要領の内容
音声	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新出語 (脚注・傍注)</li> <li>・新出語には発音記号を付した。</li> <li>○Sound Studio</li> <li>・文中での語の発音の変化や、音声の区切り、強勢、イントネーションなどを扱った。</li> </ul>	(1)ア (ア)(イ)(ウ)
句読法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson、Reading、Optional Lesson</li> <li>○Reading Skill</li> <li>・英文内で適切に取り扱った。</li> </ul>	(1)イ (ア)(イ)(ウ)
語、連語及び慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson、Reading、Optional Lesson</li> <li>○Reading Skill</li> <li>・新出語および連語、慣用表現などは脚注および側注などで示した。またWord List / Phrase Listでは上記で取り上げた語句をアルファベット順に示し、初出ページを付した。また、本文は現代の標準的な英語を基本とした。</li> <li>◎Functional Expressions</li> <li>・言語活動において活用度の高い慣用表現を系統的に示した。</li> </ul>	(1)ウ (ア)(イ)(ウ)
文構造及び文法事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson (本文、Grammar for Communication)</li> <li>・文構造、文法事項は、運用度の高いものを言語活動と効果的に関連づけることを考慮し、1課に偏らないよう満遍なく配置した。また、実際にコミュニケーションの中で活用できるような形式で提示し、定着を確認できる課題を配した。</li> </ul>	(1)エ (ア)(イ)
言語活動① (聞く・読む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson (本文、TF、Questions、Your Reaction、Wrap It Up!、Give It a Try!、Another Point of View、Sights &amp; Sounds)、Reading (本文、Comprehension)、Optional Lesson (本文、Now That You Have Read)</li> <li>・本文を聞いたり読んだりして、目的や場面、状況に応じて、概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを捉え、自分の考えをまとめる。</li> <li>○Reading Skill</li> <li>・本文を聞いたり読んだりして、目的や場面、状況に応じて、概要や要点、詳細、書き手の意図などを捉え、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	(2)ア
言語活動② (話す・書く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson (Your Reaction、Wrap It Up!、Give It a Try!、Another Point of View、Sights &amp; Sounds)</li> <li>・伝える内容を整理し、目的や場面、状況に応じて、要点や意図などを明確にしながらか、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを伝え合う。</li> <li>●Reading (Comprehension)</li> <li>・本文内容について、話したり書いたりして自分の考えなどを伝え合う。</li> <li>●Optional Lesson (Now That You Have Read)</li> <li>・本文内容について、話したり書いたりして自分の考えなどを伝え合う。</li> </ul>	(2)ウ
言語活動③ (領域統合型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson (Your Reaction、Give It a Try!、Another Point of View、Sights &amp; Sounds)</li> <li>・領域統合的な活動として、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを表現する。また、話したことを整理して自分の考えを書いたり、書いたことをもとに発表したりする。</li> </ul>	(2)イ
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson</li> <li>・What's the Topic? : 課の題材について英文を聞き、概要や要点を把握する。</li> <li>・本文 : 英文を聞いて必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>・TF : 本文内容に関する英文を聞き取る。</li> <li>・Give It a Try! : 課の題材に関する対話を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を把握する。その内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う。</li> <li>・Another Point of View : 本文を聞いて必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>・Sights &amp; Sounds : 映像を見て必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>●Reading : 物語を聞いて概要や要点、詳細、話の展開、話し手の意図などを捉える。</li> <li>●Optional Lesson : 演説を聞いて概要や要点、詳細、話の展開、話し手の意図などを捉える。</li> </ul>	(3)① ア イ(ア)(イ)

読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文：英文を読んで必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を捉え、概要や要点、詳細を把握する。</li> <li>・Questions：本文から読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う。</li> <li>・Wrap It Up!：本文内容の概要や要点を捉える英文を読む。本文から読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う。</li> <li>・Another Point of View：英文を読んで必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を捉え、概要や要点、詳細を把握する。その内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語を読んで概要や要点、詳細、文章の展開、書き手の意図などを捉える。</li> <li>●Optional Lesson：演説を聞いて概要や要点、詳細、文章の展開、書き手の意図などを捉える。</li> <li>○Reading Skill：英文を読んで必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を捉え、概要や要点、詳細を把握する。</li> </ul>	(3)① ア ウ(ア)(イ)
話す「と」や「取る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Take a Moment to Think：課の題材に関して、情報や自分の知識、考えなどを話して伝え合う。</li> <li>・Your Reaction：本文の内容について、自分の考えや気持ち、賛成や反対の意見などを詳しく話して伝え合う。</li> <li>・Give It a Try!：課の題材に関して聞いた対話や本文内容を踏まえて、自分の考えや気持ち、賛成や反対の意見などを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う。また、その内容を整理して書いたり発表したりする。</li> <li>・Another Point of View：本文の内容について、自分の考えや気持ち、賛成や反対の意見などを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う。</li> <li>・Sights &amp; Sounds：映像を見て得た情報を踏まえ、自分の考えや気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語の内容について、自分の考えや気持ちを詳しく話して伝え合う。</li> <li>●Optional Lesson：演説の内容について、自分の考えや気持ちを詳しく話して伝え合う。</li> </ul>	(3)① ア エ(ア)(イ)
話す「と」発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Give It a Try!：課の題材に関して聞いた対話や本文内容を踏まえて、自分の考えや気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。また、その内容について質疑応答をおこなったり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> <li>・Another Point of View：本文の内容について、情報や自分の考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> <li>・Sights &amp; Sounds：映像を見て得た情報を踏まえ、自分の考えや気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> </ul> </li> <li>●Reading：物語の内容について、自分の考えや気持ちを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> <li>●Optional Lesson：演説の内容について、自分の考えや気持ちを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</li> </ul>	(3)① ア オ(ア)(イ)
書く「と」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson <ul style="list-style-type: none"> <li>・Your Reaction：本文の内容について、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝える。</li> <li>・Give It a Try!：課の題材に関して聞いた対話や本文内容を踏まえて、情報や自分の考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに複数の段落を書いて詳しく伝える。また、その内容について質疑応答をおこなったり、意見や感想を伝え合ったりする。</li> <li>・Another Point of View：本文の内容について、情報や自分の考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに複数の段落を書いて詳しく伝える。</li> </ul> </li> </ul>	(3)① ア カ(ア)(イ)
言語の使用場面・働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson (本文、Your Reaction、Give It a Try!、Another Point of View、Sights &amp; Sounds)</li> <li>●Reading (本文、Comprehension)</li> <li>●Optional Lesson (本文、Now That You Have Read)</li> <li>○Reading Skill <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の使用場面や言語の働きについて、各単元で取り扱うよう適切に配置した。</li> </ul> </li> <li>◎Functional Expressions <ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域にわたる活動をおこなうにあたり、言語のさまざまな働きに着目し、活用度の高い慣用表現を提示しつつ、系統的に示した。</li> </ul> </li> </ul>	(3)② ア(ア)(イ)(ウ) イ (ア)(イ)(ウ) (エ)(オ)

※配当時間については、別紙カリキュラム表を参照。

# カリキュラム表

L = LESSON, APV = Another Point of View, R = READING, OL = OPTIONAL LESSON

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	L	R	S や	S 発	W	配 当 時 数
L1	Lost in Translation	不定詞の意味上の主語	言語・異文化/レクチャー・家庭生活・学校生活	説明する、描写する、質問する、理由を述べる	○	○	○		○	6
		不定詞の受け身								
	APV How Does It Sound in English and in Japanese?	動名詞の受け身	言語・異文化/物語	説明する、理由を述べる	○	○	○			1
L2	One Book Can Empower a Child	動名詞の意味上の主語	教育・国際貢献/雑誌記事・地域での活動	説明する、理由を述べる、申し出る、質問する、驚く	○	○	○		○	6
		不定詞の完了形								
	APV Starting from Scratch		教育・国際貢献/エッセイ・地域での活動	説明する、理由を述べる、質問する	○	○	○			1
Reading Skill 1		文章の種類と構成を把握する				○				0.5
L3	Accessible Japan	さまざまな分詞構文	多様性・観光/エッセイ・旅行・地域での活動	提案する、説明する、質問する、理由を述べる、計画する	○	○	○		○	6
		強調構文								
	APV Helping the Disabled: Mind Your Manners		多様性・観光/雑誌記事・地域での活動	描写する、説明する	○	○	○			1
Sights & Sounds 1 Josh Checks Out Meiji Jingu					○	○	○	○		0.5
Sound Studio 1		音の連結・脱落・同化			○	○				0.5
L4	Crossing the Border -Médecins Sans Frontières-	関係副詞の非制限用法	国際協力・平和/講演・地域での活動	賛否を述べる、主張する、説明する、仮定する、理由を述べる、反論する、共感する、褒める	○	○	○	○	○	6
		不定詞+前置詞								
	APV Triage		国際協力・平和/雑誌記事	意見を述べる、理由を述べる	○	○	○			1
Sights & Sounds 2 This Is Médecins Sans Frontières					○	○	○	○		0.5
Sound Studio 2		文の区切り			○	○				0.5
Reading Skill 2		語句の意味を推測する				○				0.5
L5	Mental Toughness	前置詞+関係代名詞	スポーツ・心理/雑誌記事	提案する、説明する、理由を述べる、質問する、描写する、共感する、驚く、褒める	○	○	○	○	○	6
		無生物主語の他動詞構文								
	APV Be Comfortable Being Uncomfortable		スポーツ・心理/インタビュー	質問する、説明する、提案する	○	○	○			1
R1	The Day We Planted Hope		物語/本・家庭生活	説明する、描写する、仮定する、理由を述べる、共感する、驚く	○	○	○	○	○	4
L6	Walking in Gaudí's Footsteps	助動詞+have+過去分詞	芸術・異文化/インタビュー・地域での活動	仮定する、説明する、理由を述べる、描写する	○	○	○	○	○	6
		S is C (C=whether節)								
	APV God's Architect		芸術/雑誌記事	説明する、描写する	○	○			○	1
Reading Skill 3		スキミングで概要をつかむ				○				0.5
L7	Why Biomimicry?	if 節のない仮定法	科学技術・環境/論説文	説明する、描写する、理由を述べる、質問する	○	○	○	○	○	6
		未来に関する仮定法								
	仮定法現在									
	APV Biomimicry Is Everywhere		科学技術・環境/ウェブサイト	説明する、描写する	○	○	○			1
Sights & Sounds 3 How Does It Cool Itself?					○	○	○	○		0.5
Sound Studio 3		強勢とリズム			○	○				0.5
L8	Invisible No Longer	be to 不定詞	人権・共生/レクチャー・学校生活	説明する、描写する、質問する、理由を述べる、話題を進展させる、話題を変える、要約する	○	○	○	○	○	6
		結果を表す不定詞								
	APV Living in a Matriarchal Society		文化・共生/雑誌記事	意見を述べる、説明する	○	○	○			1
Sights & Sounds 4 What Is Fairtrade?					○	○	○	○		0.5
Sound Studio 4		イントネーション			○	○				0.5
Reading Skill 4		スキミングで情報を探す				○				0.5
L9	Nudges	未来進行形	生活・経済/論説文・家庭生活	提案する、説明する、描写する、理由を述べる、話題を進展させる、要約する	○	○	○	○	○	6
		未来完了形								
	APV The Decoy Effect	受け身の進行形	生活・経済/雑誌記事・家庭生活	分析する、描写する、説明する	○	○	○			1
L10	Are We Alone?	独立分詞構文	宇宙・科学/論説文	主張する、理由を述べる、説明する、質問する、反論する、話題を進展させる	○	○	○	○	○	6
		倒置								
	APV Tiny but Tough		生物・科学/雑誌記事	描写する、説明する	○	○	○	○		1
R2	Miracle on the Hudson		物語/雑誌記事	説明する、描写する、共感する、驚く	○	○	○	○	○	4
OL	The Sustainability of Happiness		生き方/スピーチ・学校生活	説明する、推論する、質問する	○	○	○	○	○	(4)
Appendix/Functional Expressions/Word List/Phrase List					配当数合計					84 (4)